



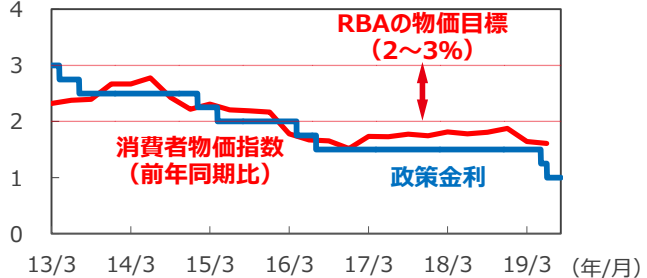
今日のトピック 豪州金融政策と豪州経済、豪ドル為替相場（2019年9月）

RBAは政策金利を据え置き、実質GDP成長率は低迷

ポイント1 RBAは政策金利を据え置き 追加利下げには引き続き含み

- 豪州準備銀行（RBA）は、9月3日に開催した金融政策決定会合で、市場予想どおり、政策金利を1.00%で据え置きました。
- 声明文によれば、金融政策の先行きについては、必要であれば追加緩和を検討するとしており、ハト派的な姿勢が引き続き示されました。

【消費者物価指数と政策金利】



(注) 消費者物価指数は2013年1-3月期～2019年4-6月期。消費者物価指数は異常値をつけた項目を除外したトリム平均値。

政策金利は2013年3月31日～2019年9月3日。

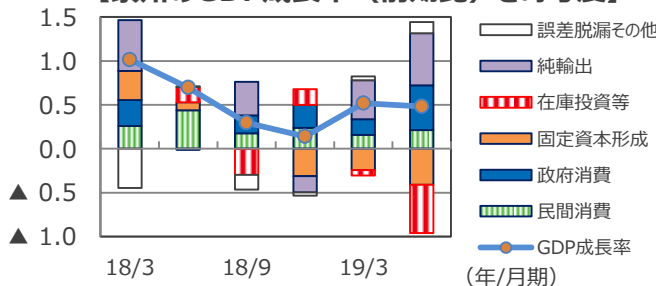
(出所) Bloomberg L.P.、オーストラリア統計局のデータを基に

三井住友DSアセットマネジメント作成

ポイント2 実質GDP成長率は低迷 民間消費や住宅投資が弱い

- 4-6月期の実質GDP成長率は前期比+0.5%と前期と同じ伸びとなりました。外需や政府消費は好調だった一方、民間消費のプラス寄与は小さく、住宅投資（固定資本形成の一部）は減少が継続しました。
- 足元の実質GDP成長率は18年初めの同+1%程度の伸びと比べると低迷した状態が続いています。

【豪州のGDP成長率（前期比）と寄与度】



(注) データは2018年1-3月期～2019年4-6月期。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に

三井住友DSアセットマネジメント作成

今後の展開

RBAは11月に追加利下げへ、 経済成長率は持ち直しへ

- 金融政策については、先行きが不透明な米中貿易摩擦に加え、下がらない失業率や伸びが鈍い賃金・物価などに足元で大きな変化がみられないことから、RBAは11月に追加利下げに踏み切ると予想されます。
- 豪州経済については、米中貿易摩擦の影響には警戒を要するものの、利下げや所得税減税による景気刺激効果が徐々に発現すると期待されることから、経済成長率は持ち直しが予想されます。
- 豪ドルについては、米中貿易摩擦やRBAの追加利下げが重しになると考えられます。一方、経済成長率の持ち直しが予想されることや、貿易黒字が過去最高となっていることなどは豪ドルを下支えすると考えられます。

【豪ドル円レートと日豪金利差】



(注1) データは2018年1月1日～2019年9月3日。

(注2) 金利差は豪州－日本。金利はともに3年国債利回り。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に

三井住友DSアセットマネジメント作成

ここも チェック!

2019年8月29日 オーストラリアリート市場：住宅価格底入れの兆し

2019年8月22日 豪ドル為替相場は底入れを探る展開（2019年8月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。